

小城市立 小中一貫校 芦刈観瀾校 学校だより 40 【2月号①】

# ともに



平成 30 年 2 月 2 日発行 <文責> 校長:濱崎 豊治 副校長:北村征一郎

## みんなの笑顔がつながる「ふるさと食の日」

毎年の「全国学校給食週間（1月24日から30日の1週間）」には、子どもの食に対する関心を高め、よりよい食育につなげることを目的として「小城市ふるさと食の日（うまかばい給食推進事業）」を開催しています。平成20年度までは、給食週間に年1回実施していましたが、平成21年度からは「地産地消」を推進するため、



年2回の実施となり、第2回目は小城市から給食費1食あたり140円以内の補助があります。

給食週間は、地元食材ベースの献立となり、30日（火）は、【御飯（芦刈米）、牛乳、鶏肉の梅マヨネーズ焼き、小城野菜の白和え、佐賀海苔のすまし汁、みかん】をみんなで美味しくいただきました。日頃から尽力いただいている給食センターの皆さんに感謝です。30日には、小城市教育委員会から大野教育長様、荒牧教育委員様、麻生総務課長様をお迎えし、子ども達と一緒に給食を食べながら、学校給食や子ども達の様子を御参観いただきました。おいしい給食を通して、子ども達の笑顔がつながる様子を御参観いただけてよかったです。そして、昼休みには「特別イベント：魚の



さばき方実演」も開催し、講師の山下鮮魚店の山下淳也様に大きな寒ブリをさばいていただきました。子ども達も大勢集まり、「うわぁ〜」と大きな歓声が上がりました。とても印象深い実演に会場がとても盛り上がりました。サガテレビ・ぶんぶんテレビ・佐賀新聞・FM佐賀ラジオ（愛ラブ小城）の4社から取材に来ていただき、子ども達はインタビューにも上手に答えていました。

給食週間では、子ども達が給食への理解をさらに深めていくため、「給食週間・給食の歴史・小城市ふるさと食の日・小城多久うまかばい給食・芦刈観瀾校の給食等」の内容で日替わりの校内放送を実施しました。また、給食で日頃から御世話になっている業者さん等への「感謝の寄せ書き」にも取り組み、全校で感謝の気持ちを届ける予定です。

### 「私立高校入試」無事に終わる

昨日は私立高校の後期入学試験があり、受験した生徒は皆、無事に受験を終え、これで全ての私立高校の入学試験が終了しました。義務教育9年間の最終目標は、中学校卒業時の「進路保障」にあると言っても過言ではありません。9年生にとって今はまさに、これからの自分の夢や将来の職業に向けての進路を決める大事な時期です。受験生となる9年生の生徒達と「ともに」、先生達や9年生の保護者の方々は、9年生がよい準備をして臨むことができるよう支え、努力しているところです。これからも県立高校入試等がひかえています。まずは、自分の体調管理に十分に気をつけながら集中してがんばってほしいと思います。そして、残りの限られた時間を大切にすべき準備を整え、一人一人の志望校に合格してほしいと願っています。



### インフルエンザ情報 ③（本日現在）

罹患患者数は随分少なくなりましたが、1年生は発熱欠席増加中。まだまだ御注意を！

- 小学部 …… 3名（1年生1名B型、4年生1名A型1名B型）
- 中学部 …… 1名（8年生1名B型）

学校での取組だけでなく、御家庭においても御協力いただきありがとうございます。まだまだ油断はできませんが、「みんなの一致協力」により、観瀾校では感染拡大が抑えられています。

2月の生活目標（重点目標）

「健康・感謝」

【前期】  
手洗い、うがいをしよう  
「ありがとう」を表そう

【中・後期】  
身体を鍛えよう  
「ありがとう」を考えよう